

西光寺だより

第二〇二号 平成三二年二月一日発行

寒い日が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか。風邪やインフルエンザが流行っておりますが、お身体くれぐれもご注意くださいと思います。今年も早や二月でございます。変わることはない今まで同様の日暮しが続くほど時間というものは早く過ぎるものであります。そして季節もグツと冷え込み寒くなりました。

先月一月十七日は、6434人が亡くなられた阪神・淡路大震災の発生から二四年の時でありました。本願寺新報に神戸市須磨区の順照寺で『阪神・淡路大震災二十五回忌犠牲者追悼法要』が営まれました。そこで同寺の住職の言葉がありました。「震災が起きてからあつという間に二四年の月日が流れました。それでもあの日の悲痛な叫びや悲しみは決して忘れることはできません。振り返るのは痛いほどつらいことですが、大きな節目の年だからこそ、あの震災は私たちにとって何だったのかをもう一度みなさんと考える年でもある。当たり前のように過ごしているこの日常は、亡くなられた方の思いと犠牲の上にあることを忘れずにいましょう」

当たり前ではなく特別な一日一日を過ごしている、いつも言っている言葉ではあります。何かこの記事の言葉に重みを感じることであります。その理由。被害は違えど私たちも地震経験をしたという事であります。自分には関係なくどこか他人事、流しがちな大切なことを引きとめさせるものは、やはり、自分の身にふりかかることがあるからこそ感じれる事なんだと、気づく記事であつたと思うことであります。

そして法要に参拝された方は「つらいこともあつたが、ここで出会う人たちみんな同じ気持ちだつたからこそ支え合い、少しずつ前に進むことができた。今後このつながりといのちに対する感謝の気持ちを大切にしていきたい。」と振り返られました。

様々ないのちの上に今があり、それはすべての人と同じであります。西光寺での法要・行事が皆様にとって支えとなり・共に前に進んでいける仲間の集える場所になれるよう、これからも努めていきたいと思ふことであります。

この度、専らご門主より、若者をはじめとした方々を対象に「念仏者の生き方」を皆様により親しみ、理解していただきたいという思いから、その肝要を「私たちのちかい」として次の四カ条にまとめられました。

私たちのちかい

一、自分の殻（から）に閉じこもることなく
穏（おだ）やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑（ほほえ）み語りかける仏さまのように

一、むさぼり、いかり、おろかさ流されず
しなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように

一、自分だけを大事にすることなく
人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲（じひ）に満ちみちた仏さまのように

一、生かされていることに気づき
日々に精一杯つとめます
人々の救いに尽くす仏さまのように

この「私たちのちかい」は、特に若い人の宗教離れが盛んに言われております今日、中学生や高校生、大学生をはじめとして、これまで仏教や浄土真宗のみ教えにあまり親しみのなかった方々にも、さまざま機会や唱和していただきたいと思っております。そして、先人の方々が大切に受け継いでこられた浄土真宗のみ教えを、これからも広く伝えていくことが後に続く私たちの使命であることを心に刻み、お念仏申す道を歩んでまいりましょう。

本願寺新報の中に浄土真宗三択クイズが掲載されていました。こういうクイズ形式で答えるのも今まで「西光寺だより」でありませんでしたので、今回載せさせていただき、楽しく浄土真宗のことをふれていただけたらと思うことでもあります。どうぞ時間の空いた時にも見て下さればと思います。解答は次号で。

合 掌

◆《浄土真宗三択クイズ》

- Q 1、私たちの宗派の正式名称は？
A、真宗本願寺派 B、浄土真宗本願寺派 C、浄土真宗西本願寺派
- Q 2、私達のお寺やお仏壇の中央に安置されている仏さまのお名前は？
A、釈迦如来 B、阿弥陀如来 C、大日如来
- Q 3、私達の宗派での「南無阿弥陀仏」の読み方は？
A、なむあみだぶつ B、なもあみだぶつ C、なあむあみだぶつ
- Q 4、阿弥陀様の呼び声を素直に聞き、この命終えた後に生まれる場所は？
A、穢土 B、浄土 C、冥土
- Q 5、私達の宗派の宗祖（開祖）は？
A、蓮如上人 B、親鸞聖人 C、法然聖人
- Q 6、私達の宗派でお勤めする、宗祖のつくられた偈（うた）は？
A、重誓偈 B、正信偈 C、讚仏偈
- Q 7、私達の宗派で一番大切な行事は？
A、お正月 B、報恩講 C、お盆
- Q 8、浄土真宗では戒名と言わず何というでしょう？
A、位号 B、法名 C、道号

Q 9、現在の本願寺の住職、専如門主は第何代？

A、第22代 B、第25代 C、第28代

Q 10、現在の西光寺の住職は第何代？

A、第15代 B、第20代 C、第25代

◆二・三月の行事◆

・三月二十一日（木・祝）

仏教婦人会総会

午前十一時三十分から追弔会（正信偈）

午後十二時～ お齋

午後一時～ 総会

西光寺本堂



浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一―七―二

電話 〇七二―六二二―四七九四

FAX 〇七二―六二二―九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>